

SCHEME | 環境プログラム無償

環境プログラム無償とは…

環境プログラム無償は、開発途上国の温室効果ガスの排出削減への取組みに積極的に協力するとともに、気候変動に深刻な被害を受ける途上国に対する支援を行うために、2008年度に創設された新しい無償資金協力は、この支援では、気候の安定化に貢献しようとする意志はもっているものの、排出削減と経済成長を両立させる実行能力や資金が不足している開発途上国や、干ばつや砂漠化といった気候変動の悪影響に脆弱な状況にある国々が支援の対象となっています。また、主な実施対象分野は、太陽光発電、洪水対策、森林保全、地熱発電、廃棄物管理などです。

JICSの役割

日本政府と開発途上国政府の間で当該プロジェクトのための交換公文が署名された後、JICSは開発途上国政府との間で調達代理業務の契約を締結します。この契約のもと、JICSは調達代理機関として供与資金を適正に管理するとともに、資機材の調達や、コンサルタント・建設会社などの役務の調達、そしてプロジェクト全体のマネジメントを行っていきます。



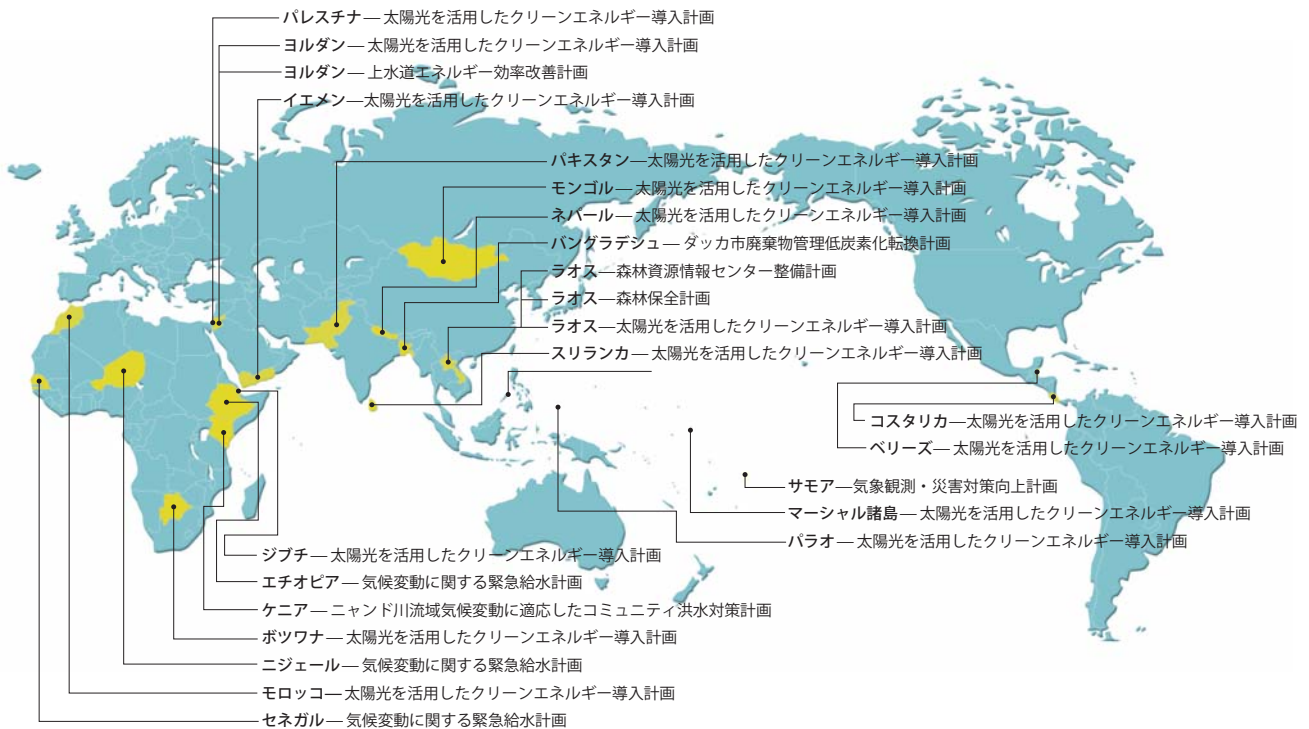
モロッコのプロジェクト予定地を調査するJICSスタッフら



トンガ「太陽光を活用したクリーンエネルギー導入計画」の予定地

事業実績 (2010年5月現在)

JICSが調達代理業務を行っている環境プログラム無償



ケーススタディ CASE STUDY 気候変動への適応のためのニヤンド川流域コミュニティ洪水対策計画 (ケニア) 2009年度

- 事業概要：ニヤンド県とキスム県の24村に各村のニーズに応じ井戸、避難所、カルバート、人道橋、堰などの洪水対策施設の整備と住民の組織化訓練を実施

24村の洪水対策施設を整備

ケニア西部ニヤンザ州のニヤンド川流域では、毎年雨季になると気候変動に起因するとみられる大規模な洪水が発生し、地域の経済成長や貧困削減を妨げる大きな要因となっています。

そのため日本政府はケニア政府の要請に基づき、環境プログラム無償による支援の実施を決定し、2009年5月19日に「気候変動への適応のためのニヤンド川流域コミュニティ洪水対策計画」に関する交換公文をケニア政府との間で締結しました。

このプロジェクトは、ニヤンド県とキスム県の24村を対象とし、各村のニーズに応じて井戸、避難所、カルバート（道路下を横切る排水溝）、人道橋、堰などの洪水対策施設の整備を行うものです。あわせてコミュニティの洪水管理組織の設立、洪水管理訓練、防災教育、ポスターやラジオ放送による啓発活動も行う予定です。

JICSはこのプロジェクトに関して、2009年6月3日にケニア水灌漑省と調達代理契約を締結し、施設建設契約の締結など必要なサービスの調達および資金管理を含む案件全体の監理を行っています。



洪水地域に住む人々。雨季には水があふれて行き来ができなくなるため、カルバートを整備して避難路を確保する



橋を架ける予定地を調査するJICSスタッフ